

第1回 岡崎市都市計画マスタープラン策定委員会 議事要旨

| | | | |
|------|---|------------|--------|
| 日 時 | 2019年4月23日（火）10：00～12：30 | | |
| 場 所 | 岡崎市役所分館2階202号室 | | |
| 議事骨子 | 1. 開会 2. 市より挨拶 3. 委員長選出 4. 委員長挨拶 5. 副委員長指名 6. 議事 (1) 岡崎市都市計画マスタープランの改定の主旨 (2) 岡崎市都市計画マスタープラン2010進捗状況の整理 (3) 都市づくりの主要課題の整理 (4) 企業アンケート (5) 策定スケジュール（案） 7. 閉会 | | |
| 配付資料 | ・次第 ・資料1 岡崎市都市計画マスタープラン改定の主旨 ・資料2 岡崎市都市計画マスタープラン2010進捗状況の整理 ・資料3 都市づくりの主要課題の整理 ・資料4 ・4-1 都市計画マスタープラン 企業アンケート（市内工業系企業の方への調査） ・4-2 都市計画マスタープラン 企業アンケート（転出された企業の方への調査） ・4-3 都市計画マスタープラン 企業アンケート（市内商業系企業の方への調査） ・4-4 岡崎市都市計画マスタープラン 企業アンケート設計書 ・資料5 策定スケジュール（案） ・参考資料1 岡崎市都市計画マスタープラン 現況整理報告書 | | |
| 委員 | 13名中12名出席 | | |
| | 所属 | 職名 | 氏名 |
| ■出席 | ■名城大学 | 教授 | 松本 幸正 |
| □欠席 | ■愛知産業大学大学院 | 准教授 | 宇野 勇治 |
| | ■東海学園大学 | 名誉教授 | 宮崎 幸恵 |
| | ■岐阜工業高等専門学校 | 教授 | 鶴田 佳子 |
| | ■愛知県都市整備局都市基盤部都市計画課 | 課長 | 片山 貴視 |
| | | 代理 課長補佐 | 伊藤 俊司 |
| | ■愛知県西三河建設事務所 | 企画調整監 | 大野 伸二 |
| | □岡崎商工会議所 | 女性部会長 | 太田 敏子 |
| | ■岡崎農業委員会 | 会長 | 小久井 正秋 |
| | ■NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた | 事務局長 | 天野 裕 |
| | ■NPO 法人21世紀を創る会・みかわ | 専務理事 | 斎藤 眞澄 |
| | ■株式会社まちづくり岡崎 | 取締役事業統括本部長 | 長谷川 伸介 |
| | ■市民代表 | | 石井 美紀 |
| | ■市民代表 | | 片桐 政勝 |

1. 開会

2. 市より挨拶

新井次長

〈あいさつ〉

現行の都市計画マスタープラン 2010 は来年度に目標年度を迎え、現在全面改定に向け準備を進めている。皆様におきましては、多角的な見地から貴重なご意見をいただき、都市計画マスタープランをより良いものにしたいと考えている。

3. 委員長選出

事務局

議事に先立って、委員長の選出を行いたい。選出方法は、委員会設置要綱第 3 条第 2 項の規定に基づき委員の推薦により選出する。どなたかご推薦等はないか。

天野委員

都市計画の諸制度に精通し、岡崎市の都市計画審議会の会長を務められている経験豊富な松本委員を委員長として推薦する。

事務局

天野委員から松本委員を推薦するお声があった。委員長を松本委員にお願いするということではよいか。

委員一同

異議なし。

事務局

皆様異議なしということで、松本委員に本委員会の委員長をお願いしたい。

松本委員は委員長席に移動をお願いしたい。

4. 委員長挨拶

松本委員長

10 年前にも現行の都市計画マスタープラン策定をお手伝いし、引き続きということになった。この 10 年の間に世の中には様々な変化があった。人口減少など暗いイメージがあるなかで、市民の方々に希望をもつていただくということは都市計画マスタープランにとって何よりも大事である。皆さんにご協力いただき、現実も見据えながら将来明るい未来が描けるような都市計画マスタープランにしていきたい。

事務局

これ以降の会議の進行は松本委員長にお願いする。

松本委員長

それでは私のほうで進行を務めさせていただく。

5. 副委員長指名

松本委員長

議事に入る前に、副委員長を指名させていただく。副委員長に関しては委員長が指名することになっているので、私から指名する。副委員長には都市計画審議会のメンバーであり、岡崎市の大学に勤めている宇野委員にお願いしたい。

宇野委員

はい。

6. 議事

(1) 都市計画マスタープランの改定の主旨

※資料説明（資料 1）及び質疑応答

宇野委員

都市計画マスタープランの改定のポイントはどこか。

事務局 リニアやコンパクトシティ、モノづくりの愛知といった新しい観点を加え、改定に向け検討していく。

松本委員長 現行の都市計画マスタープランの基本姿勢では、民間・市民協働を先駆的にとり入れ、公共空間の民間利用や、市民協働のまちづくりが盛んに行われるようになった。これらを踏まえ、民間・市民協働をより加速させ都市計画・整備を進めるといった内容を記載してはどうか。

改定の主旨の中に歴史・文化の内容があまり記載されていないが、今後まちづくりにおいて歴史・文化を活用することは非常に重要であり、改定の主旨に加えてはどうか。

事務局 意見を参考に改定の主旨に加えたい。

天野委員 団塊世代が老年人口を迎える 40～50 年後には、人口ピラミッドの構成も変化し、それらを踏まえた長期的な人口推移を検討に加えるべきではないか。

市全体で人口構成を見ると課題は少なく見えるが、東部や中央部等では人口減少や空洞化が見られ、地域ごとの人口構成も検討に加えるべきである。

まちづくりにおいて今後協働・共創が重要となるなかで、都市計画マスタープランでも市民主体のまちづくりを掲げているが、市民の多くは都市計画マスタープランの存在を知らず、自負や主体感がないと思う。市民への PR 等、施策に関わる状況をどのようにつくるか検討していく必要があり、我々もその手伝いをしていきたい。

松本委員長 より長期的な人口推移を踏まえた検討を加えるべきではないか。

地域ごとの人口推移の検討も加えるべきではないか。

都市計画マスタープランと市民活動をどうつなげるのか。また、改定にあたり、市民に対してどのように情報発信をしていくのか。

事務局 可能な限り長期的な人口推移も踏まえて検討する。どのくらい先まで含めるかについては、今後検討していく。

地域毎の検討については、地域別構想を策定するなかで、地域別の意向や人口構成のばらつきも把握し、検討していきたい。

市民主体のまちづくりを行うために、都市計画を考えるなかで、市民にとって主体性のある説明会等ができればと考えている。なお、地区計画等を策定する際には、住民へのアンケートや町内会等の組織と連携し策定しているが、この取り組みは強化していきたい。

松本委員長 情報発信に関しては、SNS の発展等その都度適切な方法は変化していくため、皆さんにご協力いただきながら支援していきたい。また、活動には地区ベース、プロジェクトベース等があり、それらに対応したかたちで情報発信していければよいと思う。人口構成についても意見を参考に、改定の主旨に反映するか検討していただきたい。

小久井委員 岡崎市に住んでいる人と住んでいない人の意見を聞くと、岡崎市は住みやすいということがよくわかる。

松本委員長 アンケートの結果、住みやすい、住み続けたいという意見が多かったため、改定の主旨の部分で、それを維持し続けるという内容を記載してもよいのではないか。

宮崎委員 様々な政策に関係すると思われる「外国人」というキーワードを入れてもよいのではないか。

事務局 参考にさせていただく。

松本委員長 資料3に外国人の転出・転入人口のデータの追加してほしい。インバウンドについてのデータもあればよい。

片桐委員 静岡県は、リニア開業により東京-名古屋間の距離が近くなることで取り残される危機感がある。三河地区と静岡県は歴史的な交流もあり、岡崎市が今後発展していくにはこのような交流も踏まえ、岡崎-名古屋間だけでなく、もっと広域的なつながりも含めた検討が必要ではないか。

事務局 リニア開業により東京に一極集中していた人口が分散することが見込まれる。それを好機と捉え、既存の新幹線の活用も考慮したまちづくりを進めたい。

松本委員長 静岡県等とのつながりを表す資料として、企業の本店・支店や取引先のデータ等があればよいが作成は難しいと思う。

静岡県等とのつながりを強化することで、岡崎-名古屋間以外のつながりの軸が生まれる可能性がある。

鶴田委員 都市計画マスタープランの内容と、実際に行われている市民活動が関連していないという現状が全国的に課題となっている。市民活動を都市計画マスタープランの目標に割り付ける等といった、人口減少に合わせた都市計画マスタープランの構成も検討してはどうか。

松本委員長 重要な意見だと思う。市民が行っている具体的な活動と都市計画マスタープランの取り組み方針との関連がまとめられていると、市民との距離が縮まると思う。そのような活動の一覧はあるのか。

天野委員 市民協働事例集という資料には市主体で行われた事例がまとめられているが、市民主体の事例を網羅的にまとめている資料はないと思う。

鶴田委員 市主体の活動だけでなく市民主体の活動に関しても、似通った活動を都市計画マスタープランの中で位置付けることにより、自分達の活動がまちづくりのどの部分に貢献しているか認識することができ、市民活動の推進につながると思う。

石井委員 今回の都市計画マスタープランは、2010とは違うものなのか。

都市計画マスタープランの内容がランドデザインすぎて、市民の生活と密着していない印象があり、都市計画マスタープランの中で市民協働の部分等をより明確に位置付けてほしい。

事務局 全体構想・地域別構想の構成は今までどおり行う予定だが、全面改定という趣旨で検討している。

市民活動を地域別構想に落とし込めていないため、そのような観点を踏まえて検討していきたい。

松本委員長 新しいものをつくるという意識で議論していただきたい。

都市マスは都市計画法に基づいており、都市計画行政を行うにあたり指針になるもの

| | |
|-------|--|
| 宇野委員 | <p>であり、必要最低限のことは記載しなくてはならない。加えて市民協働の内容をどのように盛り込んでいくかといったバランスを議論していく必要がある。</p> <p>都市計画マスタープランの中で、市民活動だけでなく企業の目線と都市計画との関連もより明確に記載してもよいのではないかと。</p> <p>改定の主旨の部分で市の強みが明確になっていない。地域ごとの強み・弱みを分析し、相対的に市全体の強み・弱みを明確にすることで、岡崎市らしいしなやかで強靱な都市計画マスタープランを策定することができると思う。</p> |
| 松本委員長 | <p>産業と都市計画マスタープランとの関連をもう少し明確にしてはどうか。改定の主旨の部分で、市の強みをより明確に記載してもよいのではないかと。</p> |
| 事務局 | <p>今後のスケジュールの中で市民との意見交換の機会を設けることを検討しており、そこで地域の強み・弱みを把握し、市民に案を提示していきたい。課題の構成として市全体の課題があり、その中で地域の課題があるといった二段構えを想定していた。意見も参考に、地域の課題を市全体の課題に反映することも考えられる。</p> |
| 松本委員長 | <p>まずは市全体の課題を挙げるのが重要である。必要に応じて地域課題を市全体に反映すればよい。</p> |

(2) 岡崎市都市計画マスタープラン 2010 進捗状況

※資料説明（資料2）及び質疑応答

| | |
|-------|--|
| 鶴田委員 | <p>未着手の施策も計画中・事業中となっているが、それは問題ではないのか。</p> |
| 事務局 | <p>施策自体が各課に分かれているため、このような集計となっている。</p> |
| 鶴田委員 | <p>未着手の事業が埋もれてしまう心配がある。</p> |
| 事務局 | <p>現状整理に留まっているため、今後新たに課題が挙げられた場合は、必要に応じて関係各課と施策の協議を行う。</p> |
| 松本委員長 | <p>未着手の事業が埋もれるのは問題である。未着手の事業を挙げ、次期マスタープランで何をしなければならないかといった検討の資料にしなければならない。</p> |

(3) 都市づくりの主要課題の整理

※資料説明（資料3）及び質疑応答

| | |
|-------|---|
| 鶴田委員 | <p>子育て世代等の若い世代が住みたくなるまちづくりといったキーワードをもっと入れてもよいのではないかと。</p> <p>岡崎市の都市づくりの主要課題2の中で、市街化区域外縁部や山間部などが記載されているが、都市計画区域外も含めるのか。含めるのであれば、都市計画区域外に関する内容を別でつくる必要もあるのではないかと。</p> |
| 事務局 | <p>若い世代にも住み続けていただくため、主要課題にとり入れたい。</p> <p>都市計画区域外等について事務局で整理した後、策定委員会で議論していただきたい。</p> |
| 松本委員長 | <p>都市計画区域外等について課題に含めるのであれば、全ての資料に記載しなければならない。含めないのであれば、記載しないほうがよい。</p> |

| | |
|-------|--|
| 宇野委員 | 若い世代に住んでもらうためには、デザイン性にも優れた都市がよいと思う。主要課題の中で岡崎市らしさがあまりないと感じる。 |
| 松本委員長 | 主要課題が教科書的なまとめ方になってしまっている。岡崎市らしさのある都市計画にするには行政担当者の想い、市民の熱意をとり入れる必要がある。また、岡崎市は「風格」という言葉を使うことができる市だと思う。 |
| 片桐委員 | 都市計画マスタープランの内容によそよそしさを感じるため、より市民が身近に感じるような表現に変えたらよいのではないか。例えば、都市計画や都市計画マスタープランといった名称、表現を身近に感じるものにできないか。 |
| 事務局 | 都市計画マスタープランのタイトルを変えることは難しいが、サブタイトル等の部分で議論を重ね作成していきたい。 |
| 松本委員長 | 都市計画マスタープランは都市計画法に準じて策定するものであるため、どうしても硬い名前になってしまうが、より市民の理解を促すためサブタイトル等での表現の工夫は必要であると思われる。他の市町村で、名前は違うが都市計画マスタープランとして扱っている市町村もある。 |
| 石井委員 | 主要課題2の中で、これまで大々的に行っていなかった自動運転や新技術の導入等を課題にとり上げた背景は何か。 松本先生が風格と言われたが、岡崎市に住んでいて風格をあまり感じたことがない。岡崎市民だけが市に誇りを持っているのではなく、市外の方々から見た岡崎市のイメージも考慮して都市計画マスタープランを検討していただきたい。 |
| 松本委員長 | 市民が風格を感じられる都市にしていかなければならないという意見は非常に大事だと思う。 |
| 事務局 | 自動運転の実証実験はこれまでも取り組んでおり、継続していきたい。社会情勢も考慮してまちづくりに取り組んでいる。 |
| 松本委員長 | 世界的潮流を踏まえたまちづくりを行っていく必要がある。 |
| 小久井委員 | トヨタが自動運転に力を入れており、農機具などの自動化も進んできている。 |
| 松本委員長 | 新技術の普及に伴い、道路などの都市施設の転換が求められたとき、都市計画の中でどのように位置付けるかも今後重要になるとと思われる。 |
| 松本委員長 | 資料2の右側に市民協働の活動がどれに当てはまるのか一覧をつくることで、関連が見やすくなると思う。また、先ほど議論された市民との協働、公共空間の利活用、外国人の対応等を、改定の主旨には入れたが課題には入れていないということがないようにしていただきたい。 |
| 宇野委員 | 今後の策定にあたり、現行の都市計画マスタープランに対する評価や改善点等を取り入れるのはどうか。 |
| 松本委員長 | 他の計画にも影響があり収集がつかなくなる可能性があるため、改善点等は適宜委員会から指摘していくべきである。 |
| 宮崎委員 | 主要課題の中に「緑」という概念をキーワードとして入れるとよいのではないか。 |
| 松本委員長 | 旧都市計画マスタープランの中で必要な部分は引き継いでもらいたい。 |

| | |
|-------|---|
| 長谷川委員 | 都市の課題解決に向けた内容は当然必要だが、都市計画に直接関係しないと思われる空き家等の既存ストックを活用した地域交流機能の整備等の内容も都市計画マスタープランに入れることで、人々が幸せを感じ住みたいと思うまちづくりを行うことができると思う。 |
| 松本委員長 | 都市計画に直接関係ない部分を記載することはできないが、人々の幸せを都市計画としても支えるという考えは非常に重要な視点だと思う。何らかのかたちで表現していきたい。 |
| 天野委員 | 自分達で足りない部分を補うという市民活動が多く、一次産業の資源も豊かで、教育も充実し、市民が楽しめる観光地も多い。このような自給自足・地産地消の文化が岡崎市の特色として挙げられるのではないかな。 |
| 松本委員長 | 何らかのかたちで盛り込めればよいと思う。 |
| 齋藤委員 | 産業が縮小していくなかで、岡崎の産業を都市計画の中でどのように捉えていくのか。 |
| 事務局 | 産業については主要課題1の中で、製造業の機能強化やその周辺の基盤整備、新たな分野の促進等を考えている。 |
| 松本委員長 | 主要課題1はネットワークの基盤整備についての内容であり、産業自体に都市計画としてどのように対応していくかが明確ではないため、意見として検討していただきたい。今後、産業や工業は量から質の転換が求められるようになると予想され、そのような観点も踏まえ検討していただきたい。 |
| 伊藤委員 | 地域別構想策定の際に、課題を抽出する対象エリアの範囲が広いのではないかな。 |
| 松本委員長 | 課題の抽出にあたり、対象エリアの範囲についても検討していただきたい。 |

(4) 企業アンケート

※資料説明（資料4）及び質疑応答

| | |
|-------|---|
| 石井委員 | 転出された企業の取引先についての質問項目も追加してはどうか。まとめの資料を作成する際に、企業の所在地を地域別に分布図等でまとめると良いのではないかな。 |
| 事務局 | 意見を参考に検討したい。 |
| 鶴田委員 | 市内の企業に対し、立地理由を聞くことで転出理由と比較できると思われる。 |
| 事務局 | 意見を参考に検討したい。 |
| 伊藤委員 | 営業所は本社・事業所のどちらに入るのか。業務系のニーズを掘り下げてはどうか。 |
| 事務局 | 一部の業種においては業務系も含まれている。 |
| 宇野委員 | IT等の流動的な業態をどう呼び込むかが重要だと思われる。岡崎市を選んだ理由として、利用形態などの側面からアンケートを行えばよいのではないかな。 |
| 松本委員長 | 土地の提供やインフラ整備などに資するデータを集める。岡崎市でしかできない建設業等の土着的な産業・工業は省いてもよいのではないかな。 |
| 松本委員長 | 企業への訪問者のためのホテルやコンベンション施設の要否や、従業員の生活についてどう考えているのかという内容の質問項目も追加してはどうか。 |

(5) 策定スケジュール(案)

※資料説明(資料5)及び質疑応答

松本委員長 | 熟度に合わせ市民との対話・情報発信を積極的に行うようにする。

7. 閉会

事務局 | 本日は多くの貴重なご意見をいただいた。次回の策定委員会は約2か月後を予定している。詳細は後日連絡する。

大野委員 | 今回の議事録等はHPにいつ掲載されるのか。

事務局 | できるだけ速やかにHP上にPDFファイルで掲載する。

以上